

# 令和3年度 学校経営の方針

新潟市立笠木小学校長 高橋 宏昌

## 1 はじめに

子どもが大人になったときに、社会で活躍できる力を付けましょう。＜責任＞  
保護者が子どもを通わせてよかったと感じられる教育活動を進めましょう。＜信頼＞  
笠木小で働いてよかったと感じられるように、教職員一丸となって取り組みましょう。＜協働＞  
笠木っ子応援隊（地域や関係団体など）と目的を共有して子どもを育てていきましょう。＜連携＞

## 2 学校教育目標

### 明るく かしこく 生き生きと

進んでかかわり合う子ども たがいに学び合う子ども たくましく生き生きと生活する子ども

## 3 基本方針～3つの資質・能力を育む～

創造する力，表現する力，自己有用感を育成する

### (1) 体験の積み重ねにより、子ども一人一人に創造する力・表現する力・自己有用感を育む

- ICTを活用した授業の実施、授業とつながる家庭学習・読書活動の推進
- 児童主体の課題解決型「田畑の活動」の展開
- 一人一人に寄り添い、学びの過程を「支援する」→活躍や成果を「ほめる」「認める」  
→振り返りを通して、成長を「実感させる」→自信と意欲

### (2) あたたかい学級・学校づくりを進める

- よさを生かした活躍の場づくりと支持的風土づくりを計画的に行う。
- 温かい言葉や認め合う言葉の継続的な指導を行う。
- あきらめずに最後までやり抜く力の育成

### (3) つながり、高め合う職場づくりに努める

- 多忙化解消、働き方改革に全職員で取り組む（「やめる」「減らす」「変える」で業務改善）。
- 創意と情熱のある教育活動を展開する。  
（一人一人のよさや得意分野を生かし、夢のある教育活動を）
- 反省や振り返りを通して、教職員も取組の成果や自らの成長を実感できるようにする。

### (4) 家庭や地域社会と連携目的を共有し、信頼関係を深め、特色ある学校づくりを推進する。

- 子どもの成長を具体で示し、子ども、教職員、学校のよきパートナーになってもらう。
- 対応は、誠実・迅速・丁寧に行う。
- 学校日より、ホームページ等を通して情報発信する。

### (5) 全職員が危機意識をもつ

- 些細な気付きを見逃さないアンテナをもつ。「ヒヤリハット」を共有する。
- 報告・連絡・相談は迅速に。確認は確実に。細かな情報収集と早期対応を心掛ける。  
（「どうなったか」より、「どのように対応したか」が大切です。記憶より事実記録を残す）

### (6) 子どもに求めることは、教職員が実践する

- 「笑顔とあいさつ」「人権に配慮した言動」とともに、心身共に健康な毎日を過ごす。
- 守秘義務・交通安全・飲酒運転撲滅・情報管理は確実にを行う。